

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

101

令和5年1月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙1101番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



謹賀新年



ふれあい・いきいきサロン
ゆとりの里の皆さん(日土)



新年、明けましておめでとうござい
ます。地域住民の皆さまにおかれましては、
輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申
し上げます。旧年中は、社会福祉協議会
の事業推進につきまして、多大なるご支
援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

少しずつ感染症の対策が緩和されてき
ているとはいえ、未だコロナ禍以前の活
動を取り戻すには至っていません。一方
で、外出・交流の機会が減少したこと
による心身への影響も懸念されているこ
ろです。本会としては、地域住民の皆様
方と、集うこと、顔を合わせて時間を共
にすることを大切にしながら、地域福祉
の推進に努めて参る所存です。

この新しい年が、より佳き年になるよ
う心より祈念致します。本年も変わらぬ
ご支援ご厚誼を賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



八幡浜市社会福祉協議会
会長 清家 俊蔵

地域の支え合いを進めよう！
アクティブボランティア養成講座を開催しました

令和4年10月26日（水）～11月16日（水）まで、全5回課程で『アクティブボランティア養成講座』を開講しました。「ここに住んで良かった」と思える地域づくりを進め、お互い様の気持ちを育むことを目的に、平成27年より開催しています。

今年度は会場を松蔭地区公民館とし、主に松蔭地区周辺にお住いの方に参加いただきました。

介護保険や認知症などについて学ぶ

八幡浜市は、高齢化率40%を超える街です。その介護サービスを利用して暮らす方も多くおられます。しかし、自身が、あるいは家族がサービスを利用することにならないと、なかなか学ぶ機会はないのではないのでしょうか。今回の講座では、制度や介護サービスのことを学ぶ時間を設けました。講師には、八幡浜市地域包括支援センターの宇都宮保健師、おるde新町居宅介護支援事業所の池田ケアマネジャーをお招きしました。

また、認知症についても、学

びを深めました。2025年には、高齢者の5人に1人が認知症になると言われています。正しい知識を得ながら、共に地域で暮らす人として、理解を拡げることが大切です。認知症ケア専門士の会『わたがし』の池井社会福祉士から、認知症とは何か、どんな関わりが望ましいかを学びました。そして、市内のグループホームや小規模多機能型居宅介護事業所の職員さん、ケアマネジャーにも登壇いただき、認知症状のある利用者とのエピソードなどをお話しいただきました。



認知症について話し合う

その後、グループに分かれて参加者同士で意見交換を行いました。自身の親や伴侶に認知症状があった（ある）経験等の具体的な事例も交えながら、共に暮らす上でどんな声掛けが良いか、自分たちに何ができるかを話し合いました。

精神障がいについて学ぶ

『はまかせ♡スクール』同時開催
毎年精神障がいについて学ぶ講座を、今年度はアクティブボランティア養成講座の1コマとして展開しました。

講師には、市役所社会福祉課障害福祉係 大空保健師、八幡浜医師会立 双岩病院 精神保健福祉士 島内氏をお招きしました。講座では、身近な心の病気について理解するとともに、精神障がいについて学ぶ方が置かれてきた歴史について学びました。障がいを抱えていても共に地域で暮らせる街であるために、まずは知ることが大切であると学び深めることができました。

特別編『体験してみよう〇〇カフェ』
八日市に合わせて公開開催

八幡浜市では、市の主催により2か月に1回認知症カフェを開催しています。今回特別編として、



みんなで体操！リフレッシュ！

講座と認知症カフェがコラボレーションしました。11月8日の八日市に、新町ドームを会場として、受講者と認知症カフェ参加者などに参加いただきました。はつらつ介護予防体操や笑いヨガで心と身体をリフレッシュ。その後、買い物をしたり、茶話会をしたりしながら、交流しました。

講座の最初と最後には、グループに分かれて地域について話し合いました。「良いところ」「気になるところ」「自分たちにできること」を出し合いながら、これから暮らしていく地域のことを改めて考える機会になりました。

生活支援コーディネーターだより
地域の歴史を大切にしながら、今の地域を見つめる

川上地区

写真展で地域の歴史を見つめなおす

川上地区では、平成30年にアクティブボランティア養成講座を開催した後も、講座や地域のお宝探しなどを通じて、少しずつできることを模索してきました。コロナ禍により集うことへの不安が続く中、地域の歴史や伝統、住まう人たちの暮らしを見つめなおす『川上の想ひ出探し 写真展』を開催することになりました。

開催に向けて、まずはチラシで各家庭に眠る写真の提供をお願い。そして、令和4年10月25日(火)



写真を見ながら談議に花が咲く

27日(木)まで、川上地区公民館の和室を会場に、開催しました。

会場には、地域が誇る御神楽やお祭り、郷土の偉人、埋め立ての経過が分かるもの、かつての建物やそれらを取り巻く人々など、多くの思い出深い写真をたくさん展示することができました。また、カフェコーナーも設け、お祭りの映像も流しました。

会場に訪れた方は、延べ88名。地区人口の約1割の方が足を運んでくださいました。準備は、主催である地区公民館・地区社会福祉協議会の皆さんがご尽力されました。



パネルを準備し、多くの写真を掲示



地区ごとにグループに分かれて話す

千丈地区「下ごしらえの会」

2年ぶりに全体会議を開催しました。千丈地区の第二層協議体では、発足以降年に2回程、地区内全域の関係者にお声掛けした全体会議を開催していました。しかしコロナ禍となつてから、大人数での会議が持ちづらくなつたため中止をしていました。感染も少し落ち着いてきた令和4年9月27日(火)、八幡浜市保健福祉総合センター4階のホールで開催することができました。

久しぶりの集まりということ、これまでの活動を振り返つた後、地域ごとに分かれて「個人・地域で気になること」「解決していくためにあればいいなと思うこと・もの」「今、私たちができ



グループで出した意見を共有

ること」「今後取り組んだらいいなと思うこと」を話し合いました。買い物、移動、ゴミ出し、獣害、治安など、様々な話題がありました。千丈地区内にはスーパーはありません。また、幹線道路にバスは通っていますが、山間部からバス停までの距離は遠く、利用したくても難しい現状にあります。移動スーパードラッグストアを利用しながらも生じる困りごとは、どの地区にも共通してあがりました。

自分たちができることとしては、情報収集や地域をまたにかけた話し合い、事業者と協議など、前向きな意見が聞こえます。引き続き、コロナ禍でもできることに取り組んでいきます。

第34回福祉のつどい
パラスポーツ体験を通して交流しました



『福祉のつどい』は、平成元年から続くイベントです。新町ドームを会場に、市内のボランティア団体を中心に様々な方が集う大切な機会となりましたが、新型コロナウイルス感染症パンデミックにより、従来とは一時形を変えざるを得なくなりました。

これまで築いてきたつながりを大切にしながら集う機会をどう持つべきか。東京2020パラリンピックの感動をつなぐことも重要であるとの考えのもと、パラスポーツにふれ楽しみながらその魅力やアスリートの想いを知ることが目的に、小規模ながら令和4年10月15日(土)に八幡浜市民スポーツセンターにて開催しました。

様々なパラスポーツを体験

当日は、146名の参加がありました。毎年学生を対象に実施している『ボランティア・ワークキャンプ』の一環として実施したこともあり、高校生にも多く参加いただきました。

会場には、ブラインドサッカー、シッティングバレー、風船バレー、ボッチャ、車いすバスケット、車いす体験・レース、その他のパラスポーツ・レクリエーションの体験コーナーを設けました。参加者にはボランティアスタッフも担っていました。

また、新居浜市を拠点に活動されている車いすツインバスケット

トボールチーム『愛媛エンジェルズ』の選手やスタッフ、車いすランナーの井上聡氏、愛媛県障がい者スポーツ協会にもお越しいただきました。八幡浜市を中心にパラ・レクススポーツを推進している『楽スポGoやわたしはマススポーツクラブ』の皆さんにもご協力いただきました。多くのサポートを得ながら、スタッフも参加者も一緒になって、楽しみながら交流を深めました。

体験の合間には、ちょうど秋祭りの時期であったこともあり、『てやてや音頭』を踊りました。踊りを知っている人も知らない人も、輪になって踊ることで、会場が一体となりました。



大きな輪になり、てやてや音頭！

パラアスリートにインタビュール！
 想いを語っていただきました
 最後に、お越しいただいたパラアスリートに日頃の活動状況や競技に対する想いを伺いました。

車いすランナーの井上氏は、八幡浜市内での福祉教育でも多数ご協力をいただいています。ご自身の障がいや暮らしにもふれながら、分かりやすくお話いただきました。愛媛エンジェルズの皆さんからは、「車いすツインバスケットボールは、障がいの重い人も参加できるパラスポーツ。車いすは自分にとって、アスリートに切り替わるスイッチ。ぜひ関心を寄せて、気軽に体験会などに来てほしい」など、参加者へ語りかけていただきました。



一つひとつ、真摯にお答えいただきました

今年度は式典のみ
八幡浜市社会福祉大会を開催します

日時 令和5年1月28日(土)
10時30分～12時00分

場所 八幡浜市文化会館 ゆめみかん 大ホール

内容 式典(表彰状並びに感謝状の贈呈と伝達 他)



人口減少・少子高齢化が進み、地域におけるつながりが希薄化する中、『8050問題』『ダブルケア』『ヤングケアラー』などの顕在化や新型コロナウイルス感染症拡大の長期化などにより、社会的孤立や生活困窮の課題が深刻化しています。

一方、コロナ禍において、新しい生活様式を実践しつつ、住民同士の見守り合いや支え合い活動、住民同士が出会い、福祉や暮らしを語り合う場が再開するなど、人と人との繋がりを感ずる地域づくりが戻ってきました。

国では、地域共生社会の実現に向けた施策が本格化する中、『重層的支援体制整備事業』『成年後見制度の利用促進』への取り組みや、福祉のみならず、医療、労働、農業、交通などの生活関連分野との連携など、地域福祉を『まちづくり』の視点で進める重要性が高まっています。

また、八幡浜市内の福祉関係者をはじめ、多様な地域づくりの担い手が地域福祉に参画することは、SDGsが目標として掲げている『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『住み続けられるまちづくりを』などの実現にもつながります。

本大会においても、改めて『つながり』の大切さを確認しつつ、永年にわたり八幡浜市で社会福祉の発展に功績を残された方々の顕彰を行うことを通じて、社会福祉のさらなる充実を目指すことを目的に開催します。

全国社会福祉大会・愛媛県社会福祉大会
長年の地域活動に感謝して

令和4年10月31日(月) 愛媛県県民文化会館において、愛媛県社会福祉大会(愛媛県社会福祉協議会主催)が開催されました。永年にわたり愛媛県社会福祉の発展にご尽力され、多大な功績を残されている八幡浜市民の方々が表彰されました。

【愛媛県知事表彰】

○民生・児童委員

久世和孝氏(松隆)

【愛媛県社会福祉協議会会長表彰】

○民生委員・児童委員功労

井野榮允氏(神山)

矢野利勝氏(舌田)

○社会福祉施設功労

森田美恵氏(児童養護施設八幡浜少年ホーム)

○社協・民間社会福祉団体功労

伊藤美香氏(八幡浜市社会福祉協議会)

○地域福祉功労

愛媛県立川之石高等学校

【愛媛県共同募金会会長表彰】

中川 清氏(千丈)

堀川泰久氏(舌田)

令和4年12月13日(火) 浅草公会堂において、全国社会福祉大会(全国社会福祉協議会主催)が開催されました。八幡浜市社会福祉協議会 今村徳之氏(養護老人ホーム湯島の里施設長)が、【全国社会福祉協議会会長表彰】社協・民間団体功労を表彰されました。今村氏は、長年、在宅福祉サービスに従事。八幡浜市介護認定審査委員を務めるなど、八幡浜市の介護保険の発展に寄与されました。また、養護老人ホームの処遇の改善、社会化に寄与されました。

皆さま、おめでとうございます。これからもよろしくお願ひ致します。



本会の今村徳之氏と伊藤美香氏
伊藤氏「あらためて今までの自分の歩みをふりかえり、出会った皆様に感謝です」

第2回フードパントリーを開催しました

令和4年11月20日(日)10時から11時30分まで、八幡浜市保健福祉総合センター4階にて、今年度第2回目のフードパントリーを開催しました。

地域の個人、団体、企業の皆さまからフードバンク事業へお寄せいただいた食糧品や、衣類、小物などを提供しました。別室には、カフェスペースを設置し、コーヒーマカージュースなどの飲み物と一緒に、ホッとした時間を過ごしていただきました。参加された方からは「心温まりました」「色々なものがあったのでワクワクしました」「たくさんいただき、感謝しています」などの声をいただきました。



▲川之石高等学校の皆さんと社協職員で記念撮影。おそろいのエプロンがすてきです♪

78世帯参加



皆様からの善意が集まりました

準備から当日の運営まで、千丈地区「下ごしらえの会」、ともにしび婦人会、川之石高等学校有志生徒のボランティアの皆さまにご協力をいただきました。ありがとうございました。

市社協では、ご家庭に眠っているもったいない食品の寄付を受け付けています。詳しくは7ページをご参照ください。

南予圏域生活支援コーディネーター等交流研修会
それぞれの市町で模索しながら取り組む

生活支援コーディネーター(以下、SC)は、平成27年4月の介護保険法改正後に法律に基づいて位置付けられました。『地域支え合い推進員』と称されることもあり、人と人、人と場、人と組織などをつなぎ、時には地域の方々と社会資源を生み出しながら、住み慣れた地域で支え合って暮らしていける街づくりを行っています。

八幡浜市では行政から市社協が受託し、SCを配置して活動しています。全国で展開されている事業ではありますが、地域性や既存の社会資源は街によって様々です。



それぞれの取り組みを報告・話し合う

それにより、行政の方針や推進の方法も違ってきます。一方、各市町のSCが気軽に交流する機会はなく、活動の中で生じる悩みなどを共有しづらい現状がありました。

そこでこの度、SC同士が顔を合わせて語り合いながら学べる機会を持つと、令和4年11月28日(月)、『南予圏域生活支援コーディネーター等交流研修会』を開催しました。8市町社協より23名の参加をいただきました。グループワークでは、それぞれの日々の活動を振り返り報告し合いながら、悩みや葛藤を共有すること、また、『つながり』づくりにおいて大切なことはなにか、をテーマに語り合いました。後半には、聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科の助教 雑賀正彦氏より講義をいただきました。SCの役割や戦略的なつながり作りの意義などについて学びました。

明確な正解がなく、人や地域に合った支え合いを推進するSC。引き続き、意見交換を行いながら、それぞれの市町で展開していきます。



▶レトルト食品、調味料など、温かい寄付をたくさんいただきました！ありがとうございます。

この取り組みは八幡浜ライオンズクラブの皆さんが主催して行われ、市社協が協賛として参加しました。2日間を通して多くの食品が集まりました。集められた食品は市社協へ寄付いただき、翌週開催したフードパントリー（6ページ記載）に活用させていただきました。ライオンズクラブの皆さんありがとうございました。



『食』を通じた新たな支援
「フードドライブプロジェクト」

11月12日（土）・13日（日）の両日、『わたしはま産業まつり』特設ブース内においてフードドライブプロジェクトが行われました。

「もったいない」を「ありがとう」に フードドライブにご協力ください

『フードドライブ』とは、ご家庭で余っている食品を捨てるのではなく、必要としている人に届けることができる仕組みです。

お受け取りした「賞味期限は切れていないけれど、忘れられて保管されたままになっている」「規格外で商品にならない」などの『もったいない食品』は、福祉の団体や地域福祉活動、生活に困っているご家庭などにお届けします。

ご協力をよろしくお願いいたします。



ご寄付
いただきたい
食品

- ◎ お米（お米券）
- ◎ 缶詰・レトルト食品・インスタント食品
- ◎ パスタ・そうめんなどの乾麺
- ◎ のり・お茶漬け・ふりかけ
- ◎ 調味料（醤油・食用油・塩など）



お引き取り
できない物

- × 賞味期限が明記されていない食品
- × 賞味期限が一月を切っている、もしくは切れている食品
- × 開封済みの物
- × 生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜・果物）
- × アルコール（みりん・料理酒は除く）
- × 要冷蔵の食品、冷凍食品



八幡浜市社協へお持ちください！
お受け取りにも伺います。

場所 八幡浜市松柏乙1101番地 八幡浜市保健福祉総合センター2階
電話 0894-23-2940

生活福祉資金貸付事業

教育支援資金のご案内



就学・進学に必要な費用にお困りの方へ

まずは、他の貸付制度もご確認ください。

令和2年度より、新しい修学支援制度が始まっています(減免・給付型)。詳しくは、[日本学生支援機構ホームページ](#)をご覧ください。

	貸付制度	相談窓口
高校への進学	愛媛県奨学金資金	在籍する学校
大学等への進学	日本学生支援機構奨学金	在籍する学校
	母子父子寡婦福祉資金	八幡浜市役所 子育て支援課

教育支援資金

※他の奨学金制度との併用が可能です。

就学支度費 (入学に際し必要な費用)	貸付限度額	50万円以内
	貸付期間	入学時に一括貸付(※入学後は利用できません)
	据置期間	卒業後6ヵ月以内
	返済期間	据置期間経過後12年以内
	貸付利子	無利子
	使途内容の例	入学金等入学時に学校へ納入する経費 制服、靴、体操着など入学時に一括して購入するもの

教育支援費 (在学中に必要な費用)	貸付限度額	高等学校	月額35,000円以内(専修学校高等課程含む)
		高等専門学校	月額60,000円以内
	貸付期間	短期大学	月額60,000円以内(専修学校の専門課程含む)
		大学	月額65,000円以内
	据置期間	卒業後6ヵ月以内	
	返済期間	据置期間経過後12年以内	
貸付利子	無利子		
使途内容の例	授業料、学校納入費用、参考書、学用品、交通費		

生活のこと、家計のこと、仕事のことなど、生活のしづらさを感じた時、まずはご連絡ください。電話、訪問、来所など、ご希望の方法でお話を伺います。

お問合せ先：八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL：0894-23-2940